

第6回柴又観光まちづくり検討会 議事録

日時：令和4年8月9日（火）19：00～19：45

場所：旧川甚 新館 2階

出席者：宇野会長、天宮委員、石川委員、齊藤（勝）委員、齊藤（國）委員、
島村委員、下田委員、瀬尾委員、橋口委員、早崎委員
（五十音順）10名出席

事務局：中島観光課長、目黒都市計画課長、観光課職員、生涯学習課職員、都市計画課職員
株式会社KITABA

議 題：（1）柴又観光まちづくりにおける川甚跡地活用プラン（最終報告）（案）
<事前送付資料>

柴又観光まちづくりにおける川甚跡地活用プラン（最終報告）（案）

■議事

1. 開会

2. 議題

（1）柴又観光まちづくりにおける川甚跡地活用プラン（最終報告）（案）について

事務局より「柴又観光まちづくりにおける川甚跡地活用プラン（最終報告）（案）」について説明

宇野会長： ありがとうございます。事務局より、「柴又観光まちづくりにおける川甚跡地活用プラン（最終報告）（案）」についてご説明いただきました。昨年度、川甚跡地の活用に関する基本的方向性を取りまとめた中間報告がございしますが、その内容に令和4年度の検討会で議論した内容を付け加えるとともに、今後のスケジュール等を追記したものとなります。こちらは、最終的な本検討会の取りまとめとなるものであり、過去5回に及ぶ検討会でご議論いただいてまいりました内容を基にまとめておりますので、皆様にご意見をお聞かせいただければと思います。

委員： お聞きしたいのですが、この検討会は本日が最後になりますね。今後、この会はなくなるわけですね。これまでの議論に基づいて、この施設を整備していくことになるとと思いますが、整備の段階においては、検討会としての意見はできないということですね。この検討会での意見がこれから具体化されるまでの推移を見ていくこととなりますが、今後は我々の意見が取り上げられない中で工事が進められると思います。その時に、今の最終報告時のイメージと違う形の施設になるということはないという認識でよろしいでしょうか。我々の意見はもう聞いたから、あとは行政一任で決めていくのか、この先も我々の意見を申し上げる機会はあるのでしょうか。

宇野会長： この検討会での議論の内容が、P31～32にまとまっていますが、今後整備に向け

てこれらの意見がきちんと反映されるかどうかご不安があるということだと思いません。事務局として、いかがでしょうか。

事務局：今回で一区切りと考えています。大きな方向性について、みなさまからいただいたご意見をまとめさせていただきました。先ほどご説明させていただきましたが、今後の整備にあたり、様々検討していかなければいけない課題があります。これらについては、事務的に検討するものもありますし、みなさまのご意見をお聞きしたほうが良いという局面もあろうかと思えます。細かい事務的なことをみなさまにお聞きしてもお困りになると思えます。そのため、事業の骨格イメージなどのたたき台が出来た際など、今よりも更に細かい方向性が出来たタイミングなどで、また検討会のみなさまにお集まりいただき、ご意見いただく機会を設けたいと考えています。

また、それ以外にも、設計などについて地域のみなさまに対してご説明する機会を設ける予定です。さまざまな形でご意見をいただきながら最終形を目指していくというイメージでおりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

宇野会長：ありがとうございます。他にご意見のある方、いかがでしょうか。

委員：前回もお伝えしましたが、この計画は大変良くできていると思えます。欲を言えば、もう少し桜の木が欲しいです。柴又の桜の花見は、昔からの名物です。

P34の図を見てふと思ったのが、盛り上がるほどの桜の木が植わっているのが柴又のイメージです。桜が満開の時期は、花見客が溢れるような柴又であってほしいと思えます。

宇野会長：貴重なご意見をありがとうございます。

委員：施設をどうつくっていくのかというのは、基本的にはこの通り進めていくと思えます。ただ、施設の活用方法は、イベントなどその時によって変わってくると思えます。若い人たちがどう感じて使っていくのか、どう運営していくのかをこれから検討することが大事だと思えます。ここで言う運営というのは管理とは別で、使ってくれる人たちがどう運営するのかの検討を進めていくべきだと思えます。管理運営の会社が決めれば運営方法が決まると思いますが、活用方法について、次の世代を担う若い人たちと話をしながら進めていくと、もっと活用の面で良くなると思えます。そこに期待したいと思えます。

宇野会長：ありがとうございます。他の委員の方はいかがでしょうか。

委員：いくつかのコンテンツの中で共通したイメージが出来れば結構です。

委員：令和7年度によいよスタートということですが、本日が最後というわけではな

く、これからつくる過程で情報を公開・発信していただきたいです。こういう風に進めています、こういうコンセプトですなど、これから変わっていくんだというワクワクするような情報を発信してもらいたいです。できてからスタートではなく、できる過程を物語的に発信していくことで、夢が広がっていくと思います。そして、その情報をみなさんにどう知ってもらうか、発信方法をぜひ考えていただきたいと思います。注目度も高まると思います。駅から参道を通って帝釈天を抜けて土手に抜けるというイメージを、今回私たちは抱くことができました。参道の正月の賑わい、施設の開館時間、どの時期に開けるなど、まちと一緒に共有して統一感を生むことができればと思います。

委員： P26の活用プログラムについて、2階の活用についてですが、このスペースを全て体験展示コーナーにするのかという点が気になりました。前回の検討会でお越しいただいた内藤先生による中野区の事例のように、店舗を入れるなど、そういうものが含まれると良いと思います。P32に記載の「若手アーティストやクリエイター、起業家などが集い、活動しやすい環境整備」などがなければ、どこにでもある文化資料館のような施設になってしまう気がして残念です。

3階の活用方法は難しいと思いますが、多目的スペースとして空間を確保して後々に変更することはできると思いますが、こんなに広いスペースが必要なのだろうかと思います。3階に2階の展示を持って行き、2階をもっと面白く活用できれば、観光拠点としてより良いのかと思います。

この検討会で取り上げるテーマではないと思いますが、観光との関連で申し上げると、矢切の渡しの栈橋は非常に危なくてみすばらしいところだと感じています。個人の持ち物なので整備が難しいということですが、この川甚跡地が整備され、寅さん記念館と連帯ができる中で、歌に出た矢切の渡しの栈橋がそのような状態だと、とても寂しい感じがして観光客ががっかりするのではないかと思います。これを機に整備できれば良いと思います。

宇野会長： 2階と3階の活用については、おっしゃられたようにP32にある通り、「新しい柴又・若者との関わりの創出」という場にも使えるという意味では、屋外の活用も含めて考えられます。そのような場にしていければと思います。

委員： 今回の検討会のお話を友人にすると、みんな柴又に行ってみたいと言います。本日で検討会が終わって令和7年に完成というので、2~3年空いてしまうので、改装の様子をYouTubeやTikTokで紹介するなど、SNSのコンテンツとして発信されると、個人的に嬉しいと思います。地方の似たような会館に行くと、スカスカしていて人がいない印象を持ちます。そういった施設は開館時間も短いので、夕方に行っただけで帰るなど、よくあります。

ここでは、プログラムの企画次第でどうにでもなる施設だと思います。2階と3階がスカスカしている印象があり気になる場所ですので、地元の人々の声を聞きながらプログラムを検討していただきたいと思います。

宇野会長 : 先ほどのお話は施設オープンまでの過程を、SNS で発信すると良いというご意見でした。他はご意見よろしいでしょうか。

それでは、本日みなさまからいただいたご意見を織り込みつつ、事務局にて修正を加え、最終報告としたいと思います。本日、ご決定いただきました「柴又観光まちづくりにおける川甚跡地活用プラン（最終報告）（案）」につきましては、柴又観光まちづくり検討会設置要綱第 2 条により、区長への報告の後、本日ご決定いただいた方向性をもとに、今後、施設の管理運営等の具体的検討を行ってまいります。令和 7 年度のオープンを目指して、設計・工事を進めてまいります。

皆様のご協力のおかげで、全 6 回に及ぶ検討会を無事に進行することができ、本検討会の集大成となる最終報告を取りまとめることができました。あらためて感謝申し上げます。それでは、進行を事務局に戻します。

3 閉会

事務局 : 皆様、本日はありがとうございました。以上をもちまして、「柴又観光まちづくり検討会」は本日を持って、一区切りとさせていただきます。

今後、さらに具体的検討を進めていく中におきまして、改めて皆様のご意見をお伺いさせて頂く場合もあろうかと存じます。その際は引き続きご協力の程、宜しくお願ひいたします。皆様におかれましては、昨年 11 月からの 10 か月間、お忙しい中、お力添えを賜りましたこと、事務局一同、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

以上